

## 薩南工業高校の応援歌

田代實範

ある日自宅を改修するので物置を片づけていたところ薩南工業高校樋渡清賀先生から私宛の封書が出てきた。日付は昭和五十五年十一月四日。内容は「j・T氏という方から母校の応援歌を田代さんに送って欲しいとの依頼があったから各科を回ってその一部をお送りします。体育大会では土木科の十一連勝の後二年目にしてまた優勝、土木科の意気大いになりまして。

今就職を決める時期ですが求人も先輩の実績のお蔭で多数あり、すでに大部分が決定しました。

生徒は極めて淳朴よい意味の元氣者が少なくなりましたが一生懸命です。」と記されていた。

恥ずかしいことだが私はこのことを全く覚えていない。調べたところ先生は既に他界されておられた。先生からいただいたご恩に報い歌詞を見ることで同窓諸兄が嘗て体育祭等で歌った懐かしい応援歌がよみがえり、往時を思い出すのではないかと考え本紙に紹介することにした。

### 建築科

#### 一 たぎる血潮の薩南の

赤い団旗は我らが意気に

勝利目指して若さをかける

建築男児はここにあり

#### 二 走攻投のその技は

我らが手中にがっちり固め

何ぞこの闘志燃え尽すまで

広いグラウンド駆け回れ

#### 三 来たぞ今こそ勝利どき

見せよ示せよ建築魂

空にはばたく赤旗のもと

今ぞかけるぞこの命

#### 一 薩南の一丁目に来てござれ

よかにせぞろいのせい揃い

そこで目立つは建築科

土木逃げるも無理はない

#### 二 薩南二丁目来てござれ

速足ぞろいのせい揃い

そこで目立つは建築科

機械負けるも無理はない

#### 三 薩南三丁目に来てござれ

はりきりボーイのせい揃い

そこで目立つは建築科

電気泣くのも無理はない

#### 一 雄叫び上がるれいめいの

彩雲におう母ヶ岳

映ゆる錦の麓川

秋冷山河に気は澄みて

ここにそびえる我が高校

歴史七十一有星霜

#### 二 団結固く士気奮う

伝統誇る建築科

誇りにそむかじ若人が

燃ゆる熱意は鉄石心

今やためさん晴れ舞台

ふるえやふるえ我が選手

薩南荒野

- 一 薩南荒野秋たけて  
鉄脚大地に踏みて立つ  
我等が選手の意気あがり  
土木健児今ぞ立つ ※

- 一 男同士のでっかい絆  
結ぶ我らは建築男児  
おいらの意気は三百トン  
秘めた根性地に映し  
期待背負って立ち上られ  
エンヤコラセーエンヤコラ  
セー

- 二 南薩摩の男の意地は  
あとにひけない俺らの闘志  
おいらの意気は三百トン  
赤い団旗はさびれちゃいる  
が  
明日は勝利の祝い酒  
エンヤコラセーエンヤコラ  
セー

土木科 昭54年

みかん色

- 一 みかん色は土木の印

昔の人の言うことによ（ホ  
イホイ）

力もビンタも日本一（ホイ  
ホイ）

土木の選手は早足ぞろい  
何をさせてもトップは土木

- 二 みかん色は土木の印

かわいいスケさんの言うこ  
とによ（ホイホイ）

意気も器量も日本一（ホイ  
ホイ）

土木の選手はよかにせぞろ  
い  
ピンからキリまでトップは  
土木

機械科 科歌

作詞 前田昭雄

作曲 鹿島昭三

一 古き都を写せしか

ここ薩南の美<sup>うま</sup>し国

東に望む母ヶ岳

流れも清き麓川

自然の恵み 身にうけて

学びの道に 励みなん

我等機械科 薩南健児

二 晴れ渡りたる紺碧の

空は我等が象<sup>しるし</sup>徴なり

炎熱焦がす夏の日も

寒風肌をさす冬も

希望の光かかげつつ

工の業にいそしまん

我等機械科 薩南健児

三 躍進日本の工業会

時代の先駆<sup>。</sup>バイオニア

技術革新目指しつつ

困難辛苦三星霜

無限の闘志旨に秘め

学びに技に励みなん

我等機械科 薩南健児